

2023年9月15日

報道関係各位

GMO インターネットグループ

全パートナーを AI 人材化へ AI リテラシー問うオリジナルテスト「GMO AI パスポート」開始 ～「AI 活用 No.1 企業グループ」へ取り組みを加速～

“すべての人にインターネット”を合言葉に、インフラ、広告、金融、暗号資産事業を展開する GMO インターネットグループ（グループ代表：熊谷 正寿）は、「AI 活用 No.1 企業グループ」となるべく、2023 年 9 月よりグループ 108 社・約 7400 人のすべてのパートナー（従業員）^(※1)を対象に、AI リテラシーを問うオリジナルテスト「GMO AI パスポート」を開始しました。すべてのパートナーの受検・合格を必須とするテストで、実施によりグループ人材の「AI リテラシー向上」と「AI（ChatGPT）業務活用 100%」の実現を目的としています。

GMO インターネットグループは、本プロジェクトにより AI 人材の育成を加速し、AI を活用した各種プロダクトの開発をさらに促進することで、「すべての人の笑顔」の創出につなげてまいります。



(※1) 2023 年 6 月末日時点

【AI リテラシー向上のための「GMO AI パスポート」】

■全 20 問からなるオリジナル問題

「GMO AI パスポート」は、「AI（愛）しあおうぜ！プロジェクト」の一環として、2023 年 9 月から順次、グループ各社のパートナーを対象に開始しました。AI に関して様々な角度から知識やテクニックを問う選択式のテストで、AI の研究に携わり知見のあるパートナーが作成したオリジナルの全 20 問で構成されています。受検においては、AI に関する知識の習得にとどまらず、実際に手を動かしながら生成 AI の活用スキルも身に付けるために、ChatGPT などの対話型生成 AI の利用を推奨しています。一度の受検で終わらず、知識・スキルを定着させることを目的としているため、合格点を超えるまで何度でも同じ問題に挑戦す

ることができます。2023年10月31日（火）までに全パートナーがテストに合格することを必須としています。

<問題例>

・日々の業務につながる実用的なテクニックを問う問題

問：生成 AI の出力精度を高めるためのプロンプトテクニックとして正しいものをすべて選べ

- 選択肢：①複雑なタスクを、単純なタスクに分解して指示する
②できるだけ文字数の少ない短いプロンプトを心がける
③「あなたは経験豊富なマーケターです」のように、AI に与えるロールを明示する
④解答例や具体例をプロンプトに含める

・GPT-4 や PaLM などの大規模言語モデルに関する知識を問う問題

問：大規模言語モデル（LLM）に関する記述として正しいものをすべて選べ

- 選択肢：①LLM は、大規模なデータセットから学習する AI モデルである
②LLM は、自然言語の理解と生成に利用される
③LLM は、特定の指示を与えることなく、独自に考え出すことが可能である
④LLM は、最新データを自動で学習するため、複数の高性能 GPU 環境が必要となる

・的確かつ効果的な業務利用に向けた知識を問う問題

問：ChatGPT の「一般的な実務での利用」に関する理解で正しいものをすべて選べ

- 選択肢：①2021年9月以前に設立された特定の企業についての調査に適している
②キャッチコピー等のたたき台の大量生産に適している
③対話型 AI や画像生成 AI に利用するプロンプト作成にも利用可能だ
④裁判の判例や法律等の情報収集に適している

■実践問題で定着した知識・スキルを洗練

さらに、選択式で合格した全パートナーは、生成 AI の実際のユースケースを想定し設問した「実践テスト」にも挑戦します。「実践テスト」では、実際に生成 AI を使って文章を作成します。

これら一連の「GMO AI パスポート」への取り組みを通じて、すべてのパートナーが AI 知識・スキルを習得した「AI 人財」となることを目指しています。

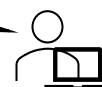
【パートナー（従業員）の声】

「GMO AI パスポート」のグループ全社での実施に先行して、GMO インターネットグループ株式会社の一部パートナーを対象にテストを実施しました。その結果、以下のような意見が聞かれました。



「問題を解くこと自体が AI 習得につながる良い取り組みだと思う。
部門でも AI の意識が高まった」(財務部門)

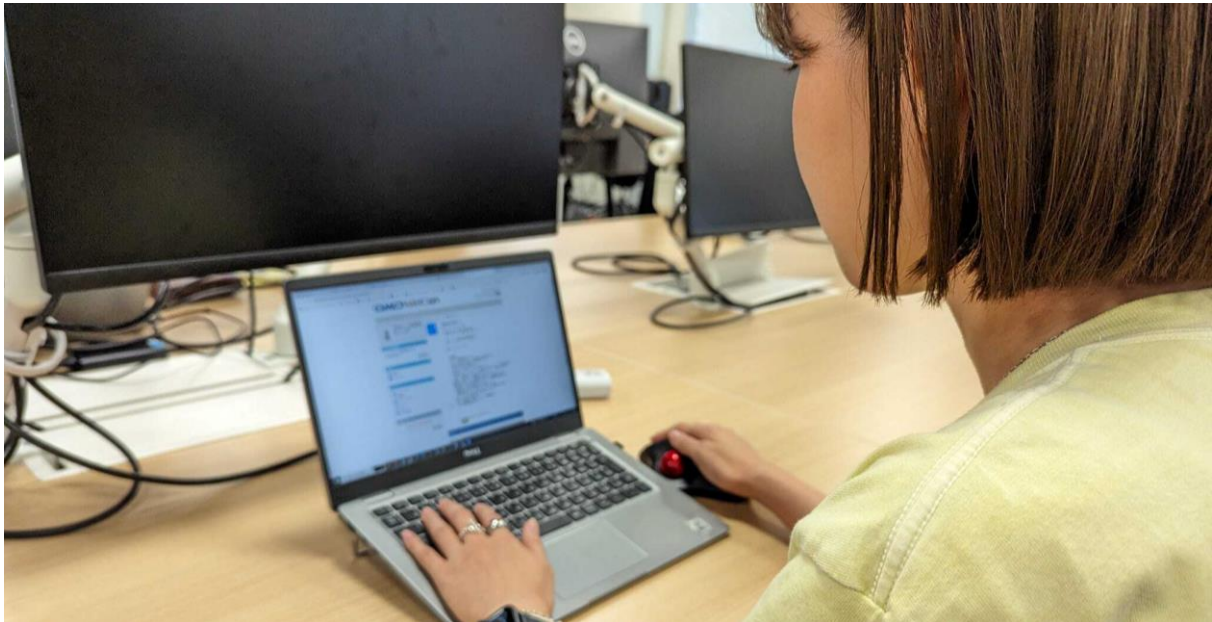
「AI の使いこなしから、利用時の注意点までバランスよく出題され、
底上げにつながる」(エンジニア)





「IT パスポートよりも AI に特化していて難易度も高い内容だった」（管理部門）

そのほか、オフィス内で「GMO AI パスポート合格した？」や「合格するコツは？」などといった、AI に関する情報共有や意見交換がこれまで以上に活発に行われるようになっていきます。



「GMO AI パスポート」を受検するパートナー、合格には 100 点満点中 85 点以上の獲得が必要

【「AI 活用 No.1 企業グループ」実現への取り組み】

2022 年後半から ChatGPT などの対話型生成 AI が急速に普及し、ビジネスにおいて AI を効果的かつ適切に活用するスキルは必須となっています。さらに 2022 年度から実施されている高校の新学習指導要領では、プログラミングやデータ活用を学ぶ「情報 I」が必修となっており、次世代の AI・IT リテラシーの高い人材から選ばれる企業となっていくためにも、日々進化する AI に関する知識・スキルを身に付けられる体制や制度の構築は急務となっています。

こうした中、GMO インターネットグループは、すべてパートナーが AI の活用により業務を効率化して生産性を高め、既存サービスへの AI の実装などにより質を向上させるとともに、AI 産業に新たなサービスを提供することで、「AI 活用 No.1 企業グループ」となることを目指しています。

この実現に向けて、2023 年 4 月からは「AI（愛）しあおうぜ！プロジェクト」と題して、すべてのパートナーが応募できる賞金総額 1000 万円の「ChatGPT 業務活用コンテスト」を実施しているほか、AI 活用には欠かせない「プロンプト共有の仕組み」の実装や、全パートナーが対象の AI 専門家による「AI セミナー」の定期開催、そして専門家が選書した「AI 読むべき 100 冊」の蔵書など、あらゆる角度からすべてのパートナーの「AI 人材」化を進めています。

GMO インターネットグループは、IT 業界のリーダーとして、今回の「GMO AI パスポート」の実施を始め、すべてのパートナーが成長できる仕組みを継続的に作り出していきます。そして、新世代の IT ネイティブに働く場所として選ばれ、最高のパフォーマンスを発揮してもらえる環境を提供できるよう、「AI 活用 No.1 の感動集団」を目標に、引き続き IT リテラシー向上と人材育成に全力を尽くしてまいります。

※本プレスリリースは生成 AI を活用し作成しました。非公開情報などは弊社規定に則り取り扱っていません。

【GMO インターネットグループにおける AI 活用推進策】

- ①グループの AI 活用を促進するために、2023 年 4 月より「AI（愛）しあおうぜ！ ChatGPT 業務活用コンテスト」を実施しています。AI に関する取り組みや新サービスへ繋がる作品が集まっており、既に実装されているものも多数あります。[\(https://www.gmo.jp/news/article/8338/\)](https://www.gmo.jp/news/article/8338/)
- ②AI に関する最新動向や最新ツールの理解を深めるために、専門家によるオンライン「AI セミナー」を月に最低 2 回開催しています。
- ③NVIDIA 社の最新 GPU「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」、「NVIDIA L4 Tensor コア GPU」を搭載したサーバーの無償貸出および、GeForce RTX™ 4090、RTX™ 3080Ti を搭載したノートパソコンの無償貸出を、グループパートナーに対し実施しています。
- ④生成 AI を使いこなすために重要なプロンプト力を高めるため、社内ナレッジ共有 SNS「Genius」プロジェクトを開始。2023 年 4 月より Slack 版の運用を開始しています。
- ⑤Slack の全パートナー参加のチャンネルでは AI に関する最新情報をリアルタイムで共有しています。
- ⑥中途採用における選考で AI に関する課題を実施しています。

【AI スタートアップ支援の推進】

GMO インターネットグループでは、グループ内での活用にとどまらず、AI スタートアップの支援を推進しています。

①「GMO AI&Web3 株式会社」による AI スタートアップ支援の開始

2023 年 5 月 24 日に、ハンズオン型 CVC「GMO Web3 株式会社」を、「GMO AI & Web3 株式会社」へと社名変更し AI スタートアップ支援を拡大しました。[\(https://www.gmo.jp/news/article/8419/\)](https://www.gmo.jp/news/article/8419/)

②「NVIDIA H100」、「NVIDIA L4」搭載 GPU ホスティングサービス「ConoHa for AI」

NVIDIA 社の GPU「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」「NVIDIA L4 Tensor コア GPU」を搭載した AI スタートアップ向けの GPU ホスティングサービス「ConoHa for AI」を 2023 年内に提供予定です。現在は 10 月 31 日までの予定でご利用のトライアルを実施しています。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO インターネットグループ株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 青柳
TEL : 03-5456-2695
E-mail : pr@gmo.jp

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/>)

会社名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)	
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー	
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿	
事業内容	■インターネットインフラ事業	■インターネット広告・メディア事業
	■インターネット金融事業	■暗号資産事業
資本金	50 億円	